成果の説明書

(氏名) 原 史子	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none">・基礎演習、演習Ⅰ、演習Ⅱ、児童福祉論、社会福祉論、家庭福祉論、介護等体験実習、社会福祉特論（前期:大学院）を担当した。・講義科目では、パワーポイントのレジュメを配布し、具体的な理解を得られるよう映像資料を必要に応じて用いた。また、毎回の講義で受講生にリアクションペーパーを記入してもらい、質問や共通して理解を補う必要がある箇所について、次回以降の講義でフィードバックするよう努めた。・2023年度のゼミ活動は、3,4年生合同でゼミ合宿を実施することができた。・演習Ⅰではグループ研究をおこない、グループ毎に高崎市役所や NPO 法人でインタビュー調査を実施し課題分析を行うなどの活動を行った。その成果を地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」（3年生4チーム）に出場し発表し、原ゼミ D グループが3位に入賞した。・演習Ⅱでは、卒業論文一編を学生懸賞論文に応募することができた。 <p>(2) 研究活動</p> <p>【学会発表】</p> <p>原 史子「要保護要支援児童の親密圏を軸とした支援のモデル化の試み」2023年度日本地域福祉学会自由研究報告,2023年6月11日,長野大学.</p> <p>【その他著作物（改訂版）】</p> <ul style="list-style-type: none">・原 史子(2024)「児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境」『社会福祉学習双書 2023 第5巻児童・家庭福祉 改訂第3版』pp. 51-76, 全国社会福祉協議会.・原 史子(2024)「子育て支援と健全育成」波田埜英治・辰巳隆編『改訂 保育士をめざす人の子ども家庭福祉』pp. 160-181, みらい. <p>【研究の状況は以下の通り】</p> <p>下記研究課題の研究成果の一部として上記学会発表を行った。また、社会的養護アフターケア事業所が実施する事業の参与観察を行うとともに、インタビュー調査に向け準備を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none">・科研費 基盤研究 C 研究課題/領域番号 22K02004) 児童養護施設退所者の「多様な親密圏の担保」に向けた施設による支援の再考 <p>(3) 学内業務</p> <ul style="list-style-type: none">・学生支援委員、ハラスメント相談室相談員、学生賞罰委員、授業料減免審査委員、自己点検・評価委員、実習運営委員、教職課程運営委員を務めた。・高崎経済大学 地域政策学会 理事・地域科学研究所所員	
<p>2 その他の事項</p> <p>(1) 学会活動</p> <ul style="list-style-type: none">・日本社会福祉学会査読委員・人間福祉学会理事	

(2) 社会活動

- ・高崎市社会福祉審議会地域福祉専門分科会（会長）
- ・吉岡町補助金等審査委員会委員（委員長）
- ・社会福祉法人中日新聞社会事業団理事

3 次年度以降の計画・抱負

- ・科研費課題の調査が遅れているため、優先的に取り組みたい。
- ・演習Ⅰのゼミ生と調査研究を行い、ゼミ活動の充実を図りたい。